

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

年度別損害賠償保険に係る事故発生状況



飛び石事故、
増え続けているよ🙄

1. 全国のシルバー人材センターにおける損害賠償保険（事故件数等）

年度	団体数	事故件数			金額			1センター 当たり(円)
		身体	財物	計	身体	財物	計	
令和元年度	1,335	61	3,310	3,363	20,829,611	382,372,253	403,201,864	302,024
令和2年度	1,335	35	3,381	3,410	11,339,482	404,460,608	415,800,090	311,461
令和3年度	1,339	33	3,614	3,638	16,201,103	456,078,815	472,279,918	352,711
令和4年度	1,340	45	3,714	3,753	2,467,745	462,432,850	464,900,595	346,941
令和5年度	1,341	35	3,682	3,711	9,285,605	497,689,619	506,975,224	378,058

2. 全国のシルバー人材センターにおける損害賠償責任保険に係る型別事故件数（割合）

年度	飛散させた物で損壊	器具用具を 接触させて損壊	倒したり、ぶつけ たりして損壊	落下させて損壊	その他	計
令和元年度	1,814 (54%)	728 (22%)	261 (8%)	190 (5%)	371 (11%)	3,363
令和2年度	1,822 (53%)	716 (21%)	279 (8%)	200 (6%)	395 (12%)	3,410
令和3年度	2,005 (55%)	777 (21%)	277 (8%)	174 (5%)	414 (11%)	3,638
令和4年度	2,054 (55%)	822 (22%)	292 (8%)	189 (5%)	396 (10%)	3,753
令和5年度	2,106 (57%)	748 (20%)	272 (7%)	174 (5%)	411 (11%)	3,711

3. 全国のシルバー人材センターにおける損害賠償責任保険に係る仕事の内容別事故件数（割合）

年度	除草、除草剤散布、 草刈り	植木職造園師	その他	計
令和元年度	2,160 (64%)	448 (13%)	755 (23%)	3,363
令和2年度	2,166 (64%)	528 (15%)	716 (21%)	3,410
令和3年度	2,356 (65%)	505 (14%)	777 (21%)	3,638
令和4年度	2,487 (66%)	524 (14%)	742 (20%)	3,753
令和5年度	2,542 (68%)	485 (13%)	684 (18%)	3,711

※令和5年度は、速報値です。

令和5年度 損害賠償責任保険月別事故状況（速報）

月	損害賠償責任保 険事故	除草、除草剤散 布、草刈り (仕事の内容)	飛散させた損壊 (事故の型)
4月	205	109	103
5月	365	262	231
6月	446	343	281
7月	518	400	323
8月	477	372	294
9月	514	417	335
10月	467	350	295
11月	279	157	137
12月	180	78	62
1月	103	24	17
2月	76	10	11
3月	81	20	17
合計	3,711	2,542	2,106

特に夏の時季は、事故
が多いのでくれぐれ
も気を付けてね。基本
に忠実にやってるか
こっそり陰から見て
るよ👁️。



令和5年度都道府県別損害賠償責任保険事故状況

各連合、センターで事故撲滅に向けて一丸となつて下さい🍌

NO.	都道府県	①損害賠償責任保険事故				②①における飛散させた損壊事故				会員数/事故件数		
		件数	件数差	金額	金額差	件数	件数差	金額	金額差	会員数	事故件数/ 会員数	順位
1	北海道	74 (76)	-2	20,546,461 (19,231,525)	1,314,936	46 (49)	-3	7,553,373 (9,580,380)	-2,027,007	15,342	0.48	36
2	青森県	41 (42)	-1	5,386,887 (5,669,282)	-282,395	28 (29)	-1	4,245,738 (3,901,238)	344,500	6,334	0.65	25
3	岩手県	36 (29)	7	5,129,408 (3,246,801)	1,882,607	23 (20)	3	2,511,642 (2,365,006)	146,636	6,264	0.57	32
4	宮城県	70 (82)	-12	8,867,151 (7,486,513)	1,380,638	34 (36)	-2	5,465,323 (4,979,707)	485,616	12,085	0.58	31
5	秋田県	43 (38)	5	5,081,085 (3,186,859)	1,894,226	27 (22)	5	4,221,950 (1,656,843)	2,565,107	6,929	0.62	29
6	山形県	26 (40)	-14	2,246,491 (3,380,377)	-1,133,886	12 (20)	-8	1,268,525 (2,365,531)	-1,097,006	8,822	0.29	44
7	福島県	80 (87)	-7	9,867,759 (9,533,513)	334,246	53 (61)	-8	6,968,323 (7,084,265)	-115,942	11,969	0.67	22
8	茨城県	142 (124)	18	18,199,510 (14,711,308)	3,488,202	100 (93)	7	13,194,608 (9,549,799)	3,644,809	15,030	0.94	8
9	栃木県	79 (77)	2	10,958,302 (9,846,694)	1,111,608	47 (47)	0	8,579,609 (6,761,921)	1,817,688	8,944	0.88	11
10	群馬県	72 (81)	-9	9,461,306 (11,482,903)	-2,021,597	45 (51)	-6	6,867,199 (6,312,013)	555,186	8,775	0.82	13
11	埼玉県	189 (205)	-16	26,203,080 (27,167,399)	-964,319	102 (105)	-3	15,320,257 (16,582,536)	-1,262,279	44,752	0.42	41
12	千葉県	149 (150)	-1	24,272,643 (21,397,302)	2,875,341	82 (73)	9	15,277,392 (14,081,277)	1,196,115	21,995	0.68	21
13	東京都	183 (188)	-5	15,220,452 (14,431,306)	789,146	23 (19)	4	3,869,243 (1,666,287)	2,202,956	80,368	0.23	46
14	神奈川県	121 (124)	-3	13,496,597 (17,943,237)	-4,446,640	39 (40)	-1	5,237,562 (5,685,329)	-447,767	37,281	0.32	43
15	新潟県	78 (112)	-34	7,981,502 (9,263,350)	-1,281,848	36 (62)	-26	3,257,559 (7,420,457)	-4,162,898	19,585	0.19	47
16	富山県	37 (55)	-18	3,985,255 (7,795,578)	-3,810,323	23 (38)	-15	2,941,073 (6,566,925)	-3,625,852	7,243	0.73	19
17	石川県	53 (47)	6	4,642,851 (4,277,103)	365,748	38 (36)	2	3,944,684 (3,741,328)	203,356	9,015	0.35	42
18	福井県	32 (38)	-6	3,363,537 (3,622,168)	-258,631	18 (22)	-4	1,741,202 (2,404,461)	-663,259	8,023	0.55	35
19	山梨県	44 (60)	-16	12,634,625 (6,998,909)	5,635,716	37 (34)	3	10,453,601 (4,260,479)	6,193,122	4,208	1.85	1
20	長野県	99 (92)	7	10,204,250 (7,709,681)	2,494,569	61 (56)	5	6,499,777 (5,368,090)	1,131,687	15,735	0.63	28
21	岐阜県	118 (99)	19	14,125,359 (16,537,369)	-2,412,010	77 (72)	5	9,616,329 (11,282,619)	-1,666,290	12,741	0.93	9
22	静岡県	135 (142)	-7	21,354,719 (19,124,271)	2,230,448	82 (68)	14	16,304,337 (11,600,518)	4,703,819	20,110	0.67	22
23	愛知県	167 (167)	0	21,046,682 (20,031,789)	1,014,893	87 (63)	24	15,076,003 (10,998,699)	4,077,304	35,409	0.47	37
24	三重県	118 (113)	5	20,968,364 (14,497,487)	6,470,877	76 (73)	3	16,470,653 (11,185,231)	5,285,422	10,213	1.16	2
25	滋賀県	56 (47)	9	5,733,324 (5,156,351)	576,973	32 (22)	10	4,843,944 (3,596,739)	1,247,205	12,826	0.44	39
26	京都府	79 (87)	-8	11,174,294 (12,720,656)	-1,546,362	38 (40)	-2	7,364,175 (6,741,508)	622,667	14,105	0.56	34
27	大阪府	111 (124)	-13	16,941,332 (18,989,546)	-2,048,214	42 (46)	-4	9,121,970 (12,378,234)	-3,256,264	44,261	0.25	45
28	兵庫県	153 (166)	-13	19,398,316 (18,951,113)	447,203	86 (84)	2	12,613,795 (12,692,197)	-78,402	35,399	0.43	40
29	奈良県	71 (62)	9	10,449,335 (9,151,477)	1,297,858	38 (33)	5	5,058,435 (4,999,738)	58,697	7,510	0.95	7
30	和歌山県	43 (45)	-2	5,321,837 (4,200,530)	1,121,307	32 (24)	8	3,637,759 (3,415,232)	222,527	5,356	0.80	16
31	鳥取県	23 (19)	4	1,711,067 (757,680)	953,387	9 (9)	0	633,856 (555,604)	78,252	3,231	0.71	20
32	島根県	36 (30)	6	3,118,056 (2,724,229)	393,827	22 (20)	2	2,492,779 (1,735,893)	756,886	4,403	0.82	13
33	岡山県	68 (66)	2	7,219,785 (6,126,967)	1,092,818	46 (41)	5	5,466,632 (3,794,766)	1,671,866	7,581	0.90	10
34	広島県	80 (104)	-24	12,763,772 (13,729,577)	-965,805	47 (67)	-20	8,470,623 (11,096,422)	-2,625,799	12,558	0.64	27
35	山口県	50 (58)	-8	4,955,731 (8,287,875)	-3,332,144	39 (46)	-7	3,886,688 (7,806,569)	-3,919,881	8,763	0.57	32
36	徳島県	21 (22)	-1	2,435,026 (2,674,274)	-239,248	14 (14)	0	1,813,920 (1,993,339)	-179,419	4,466	0.47	37
37	香川県	65 (46)	19	9,398,601 (8,577,184)	821,417	43 (33)	10	6,132,389 (5,372,701)	759,688	6,430	1.01	6
38	愛媛県	47 (50)	-3	4,026,177 (3,848,644)	177,533	31 (36)	-5	2,269,529 (2,755,448)	-485,919	6,999	0.67	22
39	高知県	48 (40)	8	3,066,461 (2,562,502)	503,959	23 (23)	0	2,085,092 (1,714,909)	370,183	4,530	1.06	4
40	福岡県	175 (113)	62	27,467,398 (18,338,110)	9,129,288	105 (65)	40	20,174,487 (13,242,278)	6,932,209	23,590	0.74	18
41	佐賀県	38 (41)	-3	6,594,323 (5,837,285)	757,038	24 (26)	-2	3,693,896 (4,444,943)	-751,047	3,573	1.06	4
42	長崎県	32 (43)	-11	3,608,407 (4,058,738)	-450,331	19 (28)	-9	2,573,296 (2,964,659)	-391,363	5,179	0.62	29
43	熊本県	104 (90)	14	12,877,956 (9,713,084)	3,164,872	70 (49)	21	10,192,396 (6,701,196)	3,491,200	9,762	1.07	3
44	大分県	34 (53)	-19	3,510,878 (6,440,466)	-2,929,588	20 (36)	-16	1,856,913 (4,851,068)	-2,994,155	5,268	0.65	25
45	宮崎県	42 (52)	-10	5,975,124 (8,215,403)	-2,240,279	32 (36)	-4	5,335,549 (4,309,739)	1,025,810	5,055	0.83	12
46	鹿児島県	103 (92)	11	14,098,276 (9,809,388)	4,288,888	65 (61)	4	5,219,456 (8,438,362)	-3,218,906	13,138	0.78	17
47	沖縄県	46 (35)	11	19,885,472 (5,456,792)	14,428,680	33 (26)	7	13,236,764 (4,352,087)	8,884,677	5,601	0.82	13
	合計	3,711 (3,753)	-42	506,975,224 (464,900,595)	42,074,629	2,106 (2,054)	52	325,060,305 (297,354,570)	27,705,735	676,756	0.55	

※1 赤色は件数、金額が前年度より増加した都道府県です。

※ () は令和4年度の件数、金額です。

※2 青は減少ベスト5 黄色は増加ワースト3

出所：統計年報（速報値）

- 1 草刈り中肩掛け式草刈機で道路を挟んで向いの駐車場にとめてある車のリアガラスを割った事故。(240,000円)
- 2 校舎中庭の除草作業中、飛び石によりガラスを破損。作業前に小石がないことを確認の上、作業を実施したが、隠れていた石が飛び校舎壁面のガラスを破損させた。(90,178円)
- 3 会員が肩かけ式草刈り機で草刈り作業中に石がはねて車に当たり、リアガラスが割れた。(528,748円)
- 4 乗用草刈り機を運転し作業していたところ、芝生内に紛れ込んだ小石を巻き込みそれが飛散し建物のドアガラスに当たり破損。(275,000円)
- 5 草刈り業務を実施していたところ、通行中の車の側面ガラスを草刈り機の飛び石により割ってしまった。防護ネットは使用していたが、飛び越えてしまった。(132,165円)
- 6 草刈り作業中に飛び石で通行する車両のグリル、ボンネット、フロントガラスを損傷させた。(564,235円)
- 7 交差点付近の歩道休憩場所の石畳に生えている草を草刈機(チップソー)で草刈作業を行っていた。走行車両運転手からガラスが割れたと申し出あり、駐車可能場所に移動してもらい確認したところ、リヤゲートガラスが破損していた。(94,424円)
- 8 草刈り作業中に石が飛び、駐車してある車の後方窓ガラスを破損させた。本来は手刈りで作業するべき場所であるが作業員への伝達不足で草刈り機で作業してしまった。石飛防止ネットは張っていたが、草刈り位置の真横のみであったため、角度により石が飛んだと思われる。(43,800円)
- 9 植木剪定及び草刈作業の現場で、庭の草刈作業中に飛散した石が隣家の車に当たりサイドガラス(後方)が破損した。側面にも傷あり。防護ネット等の飛び石対策は講じていなかった。(312,970円)
- 10 草刈機で除草作業中、小石が飛散し、現場付近に駐車していた就業会員の車両の運転席側車体と窓ガラスを損傷させた。(540,500円)
- 11 草刈り作業中に、飛び石で2台、道具を移動させた時に2台に道具を接触させ、車両計4台を破損させた。うち2台は損害小で請求無し。1台は124,550円で支払済、もう1台は955,713円の保険金支払見込み。(1,080,263円)

⑨ 草刈作業での事故及び飛散させた物による損壊の事故をゼロにするために

- ① 十分な下見、現場確認(危険予測)を行い少しでも危険と感じた場合はお断りする。
- ② 作業に適した保護具(安全帽・履物・服装・手袋めがねなど)を正しく必ず着用する。
- ③ 複数人での作業体制を確立する。(事故を重大化させるリスクの低減を図る)
- ④ 防護ネットなどの設置は必須とする。
- ⑤ 飛び石の少ない道具(低速上下刃逆回転ハサミ刈り草刈刃)の使用の徹底。(ナイロンカッターの使用は推奨していません。)環境によって刃の使い分けなど。
- ⑥ 地面の異物や障害物、小石を除去するとともに、側溝、用水路などに転落、躓き転倒しそうな危険な所には、コーンを置くなど目印にする。
- ⑦ 回転する刈刃が障害物や地面に当たって跳ね返るキックバックに注意する。
- ⑧ 作業する際は、必ず車両等を移動してもらおう。人が歩行中は、一旦作業を中止する。

- ⑨ 草を5cm程度刈り残す。(発注者の了解を得る)
- ⑩ 傾斜地では手工具(カマなど)を使用する。段を設けるなど足場を確保する。確保できないのであれば請け負わない。
- ⑪ 各部品の点検をする。
- ⑫ 刈払機講習会の受講の必須化により技術、意識の向上を図る。

注) 会員さんの中に、「いちいち飛散防止ネットをするのは面倒、なくても大丈夫」「どうせ保険で対応してくれるから」と思われている方はいませんか? 飛び石が人に当たる可能性は十分にあります。たまたま人に当たっていないだけです。後悔しても間に合いません。このまま賠償保険金の支払いが多額になると保険財政が破綻し就業自体ができなくなる可能性があります。安全対策の徹底をお願いします。

令和6年6月(令和6年度)事故速報

(1) 重篤事故

6月は、2件の重篤事故の報告がありました。

6月までの累計で見ると、令和5年度の8件と比して令和6年度は5件と3件の減少となっています。また、就業中・就業途上別にみると、就業中の事故では令和5年度の4件と比して3件の減少となっており、また就業途上は、前年度と比して同数となりました。

6月報告分までの累計

令和6年度累計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				令和5年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	就業中	4	1	3	4	0	
就業途上	4(2)	3(1)	1(1)	4(2)	0(0)	就業途上	4	3	1	2	2	
計	5(2)	3(1)	2(1)	5(2)	0(0)	計	8	4	4	6	2	

()は、当月分報告分

6月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
4	男 78歳	途上 (入院)	自転車で帰宅し、自宅の門扉前で倒れているところを通行人が発見。何らかの理由で転倒し頭部を強打して意識を失ったと思われる。急性硬膜下血腫。	×	—	自転車
5	男 75歳	途上 (死亡)	植木作業終了後、現地解散し帰宅途中、軽トラックを運転していた会員は、青信号を確認し交差点に進入した直後、赤信号で直進してきたクレーン車と衝突した。	—	—	自動車

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

6月は、就業中の事故13件、就業途上の事故10件と、合計23件であり、昨年度同月20件と比して3件の増加となっています。また、男女別では、男性は17件で3件の増加、女性は6件で同数となっています。

6月までの累計で比較してみると、昨年度の67件と比して、本年度は64件と3件の減少となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は40件で9件の減少となっており、就業途上は24件で6件の増加となっています。男女別では、男性は6件の増加となっており、女性は9件の減少となっています。

令和6年度6月分

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)		
		6月	累計	6月	累計	6月	累計	6月	累計	
就業中	植木・樹木の剪定等	3(6)	12(20)	3(6)	12(20)	0(0)	0(0)	81	77	
	除草作業	6(4)	13(9)	6(4)	12(8)	0(0)	1(1)	75	77	
	屋内・屋外清掃作業	0(3)	6(9)	0(2)	4(3)	0(1)	2(6)	—	78	
	その他	4(3)	9(11)	4(2)	8(8)	0(1)	1(3)	78	77	
	計	13(16)	40(49)	13(14)	36(39)	0(2)	4(10)	78	77	
就業途上	交通手段	徒歩	2(2)	4(8)	2(0)	4(4)	0(2)	0(4)	74	74
		自転車	6(1)	15(5)	2(0)	10(2)	4(1)	5(3)	77	80
		バイク	2(1)	5(4)	0(0)	3(1)	2(1)	2(3)	82	77
		自動車	0(0)	0(1)	0(0)	0(1)	0(0)	0(0)	—	—
		計	10(4)	24(18)	4(0)	17(8)	6(4)	7(10)	78	78
合計		23(20)	64(67)	17(14)	53(47)	6(6)	11(20)	77	78	

()は令和5年度同月の発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済)。(※安全就業の手引(第六改訂)P109～P129掲載)

※ シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないようお願いします。

草刈機での飛び石事故が多発しています。人に当たってしまったら大変ですよ。**必ず飛散防止ネットを設置して作業してくださいね。**全シ協 ホームページ、会員専用ページ リニューアルサイト 動画一覧もご覧くださいね。(DVD貸出もしています)



(3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故（休業1ヶ月以上）

4月は仕事の分類では、「その他の運搬・清掃・包装等の職業」5件、「教育の職業」「その専門的職業」「商品販売の職業」「生活衛生サービスの職業」「その他のサービスの職業」「農業の職業」「自動車運転の職業」「清掃の職業」が1件であり、合計13件でした。前年同月の11件と比べ2件の増加となっています。また、男女別では、男性は2件の減少となっており、女性は4件の増加となっています。

なお、4月に死亡事故はありませんでした。

令和6年度（4月分）

仕事の種類（中分類）	中分類 コード	事故数（件）		男性（件）		女性（件）		平均年齢（歳）	
		4月	累計	4月	累計	4月	累計	4月	累計
社会福祉の専門的職業	16	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	-	-
教育の職業	19	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	64	64
その他の専門的職業	24	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	64	64
商品販売の職業	32	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	71	71
生活衛生サービスの職業	38	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	80	80
施設・ビル等の管理の職業	41	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	-	-
その他のサービスの職業	42	1 (1)	1 (1)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	74	74
農業の職業	46	1 (1)	1 (1)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	75	75
金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断の職業	52	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	-	-
自動車運転の職業	66	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	72	72
清掃の職業	76	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	76	76
その他の運搬・清掃・包装等の職業	78	5 (6)	5 (6)	4 (3)	4 (3)	1 (3)	1 (3)	73	73
計	-	13 (11)	13 (11)	6 (8)	6 (8)	7 (3)	7 (3)	72	72

() は令和5年度同月の発生件数

令和2年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害(休業日数4日以上又は死亡)」、「派遣労働会員の通勤災害(休業日数4日以上又は死亡)」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害(業務・通勤ともに)が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。

(令和2年4月22日付 2全シ協発第12号により通知済)



安全就業スローガン

「安全は 無理せず 焦らず 油断せず」

(令和5年度から令和7年度)

★令和6年度安全就業優秀シルバー人材センター等を受賞して★

令和6年度安全就業**優秀**シルバー人材センターを受賞されたシルバー人材センター6団体及び連合1団体からの報告を掲載いたします。

公益社団法人大河原町シルバー人材センター

優秀賞2回目

1 大河原町の概要

大河原町は、宮城県南部の中央に位置し、西に蔵王連峰を仰ぎ、卵型に近い楕円形をしています。町の面積は24.99k㎡と県内で3番目に小さな町で、人口は、約2万3千人となっています。

気候は比較的温暖で、雪も少なく、県都である仙台市まで電車で35分という地理的条件のもとに、仙台市のベッドタウンとして人口も増加してきていましたが、少子化の影響により人口は横ばい状態となっております。

江戸時代には、奥州街道の宿場町として栄え、明治時代に入り郡役所を始めとする数多くの国や県の出先機関が置かれ現在まで続いています。

また、日本さくらの会により「さくら名所100選」に選ばれ、毎年行われる桜まつりでは、樹齢100年を超えるさくらを鑑賞するため、県内外より22万人を超える来場者があり、町の活性化につながっております。

2 安全就業の取り組み

(1) 安全・適正就業委員会

当センターでは、会員を含めた委員6名と職員2名の計8名からなる安全・適正就業委員会を設置しています。目標である「事故0」をめざして、安全・適正就業の基準の順守や重篤事故につながる就業の見直し、事故の再発防止対策などの活動を行っております。

また、下見の段階で危険な作業になる可能性がある場合には、委員が立ち合いで確認を行います。

(2) 安全パトロールの実施

各現場まで車にて10分程度で到着するため、出来る限り多くの現場を確認するようにしています。除草作業、植木の剪定作業などの屋外作業を中心に、昨年度は8回のパトロールを実施しております。

パトロールでは、現場毎のチェックシートに基づいて作業現場の確認をし、現場の整理整頓や安全装具の点検、熱中症等季節に合わせた注意事項の伝達をおこなっています。

(3) 各種講習会の実施

刈払機講習会や植木の剪定講習会などを開催して、会員の知識やスキルの向上を図り、安全に就業することの大切さを考える場としても有用であると考えられます。



3 今後に向けて

センター設立以来、2度目の受賞となります。これまで培ってきた、会員一人一人の安全就業に対する意識が結実したものと考えています。

しかしながら、昨今の異常気象による熱中症の危険性や、蜂刺され、飛び石対策など、安全に対する備えに終わりはないと思います。現状に甘んじることなく更なる対策を講じ、「事故0」に向けて邁進してまいります。

センターの概要(令和5年度)

- ①会員数 183人(男性114人・女性69人)
- ②粗入会率 2.24%
- ③就業実人員 175人(請負・委任124人 派遣82人)
- ④就業率 95.6%
- ⑤就業延人員 20,868人(請負・委任13,141人 派遣7,727人)
- ⑥契約金額 115,482,000円(請負・委任61,797,000円 派遣53,685,000円)

1. 富谷市の概要

富谷市は、宮城県のほぼ中央に位置し、仙台市の北側郊外のベッドタウンとして発展。平成 28 年 10 月 10 日に単独で市制施行し、宮城県下で 14 番目の市となりました。良好な住環境と豊かな自然環境が調和し、子育て世代から人気の街です。現在、人口は 5 万 2 千人を超え、ある調査の「東北・街の住みごころランキング」においては、5年連続でトップに選ばれています。

2. 安全就業の主な取り組み

(1)安全・適正就業委員会

当センターでは、理事 2 名を含めた会員 9 名と職員 1 名の計 10 名からなる安全・適正就業委員会を設置し、安全・就業推進計画に基づき毎月開催しています。また、委員会下部組織として屋外作業を担う会員 7 名からなる地区安全対策員を選任。各現場作業の朝礼等にて事故事例による注意喚起や危険予知活動(KYK)を実施しています。

(2)安全パトロールの実施

屋外作業(除草・植木剪定等)が多くなる6月から11月にかけて、安全・適正就業委員数名と事務局職員による毎月 2 回の安全パトロールを実施しています。その際に、安全啓蒙など現場への声掛けはもとより、事故事例による再発防止策の周知徹底に取り組んでいます。

(3)安全標語の募集

毎年 7 月に開催する「安全・適正就業推進大会」に合わせて、安全標語を募集しています。最優秀・優秀標語は同大会にて表彰し、1 年間センターの安全スローガンとして各種配付資料に掲載するなど啓発に取り組んでいます。

(4)各種講習会の実施

入会してすぐに受講する会員必須の基本講習会(安全就業・マナー・センターの決まり事)や除草作業安全講習会、植木剪定安全講習会等の技能講習会を開催し、会員の知識やスキルの向上、安全意識の高揚に取り組んでいます。

(5)一人就業の原則禁止化

事故発生時に迅速な対応を図るべく一人就業は原則禁止とし、事故の重大化につながるリスクの軽減に取り組んでいます。



3. 今後に向けて

この度の表彰を受け、更なる安全意識の高揚と安全就業体制の充実を図り、センター一丸となり「事故ゼロ」を目指して取り組んでまいります。

《事務局次長兼業務係長 柏山 壽幸 記》

センターの概要（令和 5 年度）

- ①会員数 432 人(男性 325 人、女性 107 人) ②粗入会率 2.91% ③就業率 97.3%
- ④就業実人員 426 人(請負・委任 247 人、派遣事業 179 人)
- ⑤就業延人員 42,914 人(請負・委任 21,335 人、派遣事業 21,579 人)
- ⑥契約金額 2 億 3,159 万円(請負・委任 1 億 1,780 万円、派遣事業 1 億 1,378 万円)

1. 伊南地域の概要

伊南地域は、長野県の南部、伊那谷のほぼ中央に位置し、東に南アルプス、西に中央アルプスの3千メートル級の山々を始め、「ふたつのアルプス」を眺望できる自然豊かな地域で、四季折々に美しい風景と立地から、登山者や観光客が多く訪れます。

当 SC は、駒ヶ根市・飯島町・中川村・宮田村の 1 市 1 町 2 村で構成する広域 SC で、今年が設立35周年の節目の年となります。

2. 安全就業への取り組み

(1) 安全部会の開催

理事7名、会員6名、職員7名で構成する安全部会を設置し、年4回の会議を開催しています。部会では年間の活動計画に基づき、事故発生時の原因分析と再発防止に向けた対策の検討、安全パトロールの実施や安全だよりの発行、安全標語の募集により、会員の安全意識の向上を図っています。また、事故に至らないケースであっても危険と感じた事象は、ヒヤリ・ハット事例として会の中で報告し合い、その後の事故発生抑止のため共有するようにしています。

(2) 安全パトロールの実施

安全部会を中心とした班編成を行い、主として屋外作業(草刈り・草取り・剪定・果樹作業等)の現場を域内 25ヶ所程度巡回し、チェックシートにより安全への配慮、就業状況等の点検をしながら、不備等があった場合には、その場で改善指導を行っています。

(3) 各種講習会の開催

作業安全講習(脚立、刈払機、チェーンソーの使用等)を実施し、会員の知識や技術の向上、安全意識の高揚を図っています。また、技能面以外でも健康維持、認知症予防や交通安全、防災等についての講習会も機会を捉えて開催しています。

(4) その他の取り組み

作業前の安全ミーティングの完全実施と安全確認シートの活用を推進するとともに、会員自ら健康維持や身体機能把握に努めるよう、健康診断の受診や健康体操の実施を奨励しています。



3. 今後に向けて

「安全は全てに優先する」のスローガンのもと、安全就業基準の順守と日頃からの健康管理の徹底、交通事故防止に努めてきましたが、この度の受賞を励みにして、今後もより一層の安全対策に会員・役職員が一丸となって事故ゼロを目指して取り組んで参ります。

センターの概要(令和5年度)

- ① 会員数 592 人(男性 379 人 女性 213 人) ② 粗入会率 2.92%
- ③ 就業実人員 608 人(請負・委任 594 人 派遣事業 26 人) ④ 就業率 100%
- ⑤ 就業延人員 78,228 人(請負・委任 74,256 人 派遣事業 3,972 人)
- ⑥ 契約金額 4 億 383 万円(請負・委任 3 億 8,886 万円 派遣事業 1,497 万円)

1.羽曳野市の概要

羽曳野市は大阪府の南東部に位置し、生駒、信貴、金剛、葛城山系に囲まれた河内平野の中にあります。羽曳野市の南西部には、羽曳野丘陵地帯があり、なだらかな丘陵・山麓地の自然に培われた山紫水明の地で、昔から農産物の栽培に適し、夏の味覚「ぶどう」や関西地区ではもっとも多い生産量を誇る「いちじく」は、特産品として有名です。

そして、世界遺産の「百舌鳥・古市古墳群」は、大阪の南部に位置する堺市、羽曳野市、藤井寺市の3市にまたがる巨大古墳群であり、堺市の「百舌鳥」と羽曳野市・藤井寺市の「古市」の2つのエリアに分かれながらも、一体性・連続性をもっています。

また、交通の便(近鉄南大阪線、大阪外環状線)もよく、大阪市内に至る時間は、30分程度です。

2.安全就業の取り組み

(1)安全委員会

当センターでは、理事2名を含めた会員7名からなる安全委員会を設置し、年3回開催しています。そこでは当センターで起きた傷害・賠償事故を報告し、その内容と原因を話し合い、事故の再発防止対策を検討しています。また、全就業会員に対し市の特定健康診査か後期高齢者健康診査の受診を強く勧め、受診結果の提出を呼びかけて日頃の体調管理の自覚を促しています。加えて毎年安全標語を募集し、そのうち12句を毎月の事務局だよりに掲載し安全意識を高めています。

(2)各種講習会の実施

植木・除草作業安全講習を定期的の実施しております。愛知県シルバー人材センター連合会が作成された安全就業のDVD「仕事の原点」を使用し、ヘルメット着用の義務付けや安全意識の向上を図っています。特に、草刈り作業における傷害事故や物損事故防止のためにナイロンコードの草刈り機は禁止しています。また、人権・ハラスメント研修などを開催し、心の健康にも配慮しております。



3.今後の取り組みについて

この度の表彰を受け、安全就業の徹底を図るために各研修会のさらなる充実に努めます。また、全就業会員に市の特定健康診査か後期高齢者健康診査の結果の提出を引き続き呼びかけをしていきたいと考えています。

センターの概要(令和5年度)

- ① 会員数 876人(男性584人 女性292人) ② 粗入会率 2.2%
- ③ 就業実人員 871人(請負718人 派遣153人) ④ 就業率 99.4%
- ⑤ 就業延人員 107,760人(請負81,761人 派遣20,999人)
- ⑥ 契約金額 4億9,905万円(請負3億7,041万円 派遣1億2,864万円)

1. 西条市の概要

西条市は、人口10万3,972人(令和6年3月末現在)、面積510.04km²で、愛媛県の東部に位置し、南は西日本最高峰の「石鎚山」、北は瀬戸内海に囲まれた温暖な気候です。

全国的にもまれな被圧地下水の自噴地帯が広範囲にわたって形成され、一帯では15～20メートルの鉄パイプを打ち込むだけで、良質かつ豊富な地下水が自然に湧き出てきます。その自噴水は「うちぬき」と呼ばれ、飲料水としての利用はもちろん、数々の利水産業の興隆を促してきたことが「水の都」と呼ばれるゆえんです。

また、本年11月1日に合併20周年という記念すべき節目を迎えます。

2. 安全就業の取り組み

○安全パトロール

安全・適正就業委員会委員を中心に月1回安全パトロールを実施。作業別巡回指導記録に基づき就業時の安全保護具の着用確認や器具の点検、熱中症対策等指導をしています。

○安全講習会の開催

全会員対象に交通安全講習会や、事故を発生させた会員を対象とした安全講習会を実施し、事故防止対策の徹底を図っています。

○事故防止の対応

各職群班による作業前ミーティングを必ず行い、仕事の手順と危険箇所を確認、安全に対する意識づけの徹底を図っています。事故発生時には、班長から班員に報告、注意喚起を行います。また、班長会を定期的で開催し、安全就業に対する指導を行っています。



○安全就業の周知・啓発

定期的に安全ニュースを配布し、就業時の事故防止や交通事故対策だけでなく、熱中症防止など時期に応じた体調管理に努めるよう注意喚起を行っています。

会員の健康管理のため、明細書送付の際に市が実施する無料健康診断の情報提供を行い、受診を奨励しています。

○今後に向けて

安全対策に終わりはなく、これからも更なる安全就業の徹底を図り、あらゆる事故防止に努めなければならない。会員・職員一丸となって「事故ゼロ」を目指して取り組んでまいります。

シルバー人材センター概要(令和5年度)

- ① 会員数 790名(男性504名、女性286名)②粗入会率 1.9%
- ③ 就業実人員 644人(請負・委任374人、派遣事業343人)
- ④ 就業率 81.5%
- ⑤ 就業延人員 80,374人(請負・委任46,460人、派遣事業33,914人)
- ⑥ 契約金額 366,841,908円(請負・委任175,810,106円、派遣事業191,031,802円)

1. 長洲町の概要

長洲町は熊本県の北西部に位置し、有明海に面し対岸には雲仙を望みます。JR 鹿児島本線が通り、長洲港と長崎県雲仙市の多比良港とを結ぶ有明フェリーが運航しています。金魚の産地として全国に知られています。また、有明海での海苔養殖や、東部の丘陵地でみかんや梨の果樹栽培が行なわれています。さらに造船やサッシ工場といった多くの企業も進出。人口 15,000 人余の、温暖な気候のもとで、豊かな自然と、工業地帯が共存する町として発展しています。

2. 安全就労の取り組み

○理事 2 名、会員 5 名と職員 3 名の安全委員会を設置し、安全対策や事故発生時の原因究明などを話し合い、現場にフィードバックしています。会議の内容は記録を作成し、今後の指針としています。

○安全パトロールは、作業現場での服装、保護具、作業内容などの確認と、問題点の指摘・指導を行っています。飛び石によるガラス破損事故が年に何度か発生していますので、飛び石に対しては特に注意喚起を行っています。年 4 回実施していましたが、コロナ禍で年 3 回に減りました。令和 6 年度から年 4 回に戻す予定です。



○講習会への参加は、刈払機の取り扱い方、植木剪定時の三脚やチェーンソーの使い方など、会員と職員で参加して、安全で効率的な使用方法を学んでいます。

講習会の実施は、かつては交通安全講習など行っていましたが、コロナ禍の間は中止となっていました。また実施したいと検討しています。

3 今後の取り組み

安全対策にこれで大丈夫ということはありません。作業時は常に周囲に気を配り、安全な作業を心がけます。またコロナ禍で滞っていた安全パトロールの回数や講習会の実施も復活させて、これまで以上に安全就業のために努力したいと思います。

センターの概要(令和 5 年度)

①会員数 168 名(男性 121 名、女性 47 名)、②粗入会率 2.56%、③就業実人員 145 名(請負・委任 116 名、派遣 29 名)、④就業率 86.3%、⑤就業延人員 13,630 名(請負・委任 10,239 名、派遣 3,391 名)、⑥契約金額 79,123,526 円(請負・委任金額 54,256,399 円、派遣金額 24,867,127 円)

1 石川県の概要

本年1月1日に発生した能登半島地震は、県内全域、特に能登地域に甚大な被害をもたらしました。能登地域のセンターでは、会員の死亡・負傷・避難・転出、発注先の事業の停止・休止、インフラの損傷などにより重大な影響を受けましたが、全シ協、県内外の連合会・センターをはじめとする多くの支援の声に励まされ、復旧・復興に向け取り組んでいます。

2 安全就業の主な取組について

(1) 組織、会議等

安全・適正就業推進専門委員会、安全対策協議会及び衛生委員会の3組織を設置しており、センターの理事長、事務局長、職員等がメンバーとして参加し、活動しています。

(2) 安全意識の向上、安全対策の推進等のための取組

①毎年7月に安全・適正就業推進大会を開催しています。大会では、令和4年度から、連合会独自の安全表彰「優良安全就業シルバー人材センター表彰」を実施しており、会員の事故防止に積極的に取り組み、事故発生抑止の成果が顕著な2つのセンターを毎年表彰しています。受賞のセンターには、安全就業に関する物品の購入等に充てる安全対策費10万円を助成することとしています。

②安全ニュースの発行(年4回) A4両面カラー版を作成し、全会員に向けて、全センター経由又は郵送で配布しています。

③安全情報の提供 全センターから毎月提出される事故報告をまとめ、事故内容を分析し、コメントを付けて、全センターへフィードバックしています。

(3) センターとの安全パトロール等の実施

主に、重篤な事故と飛び石による賠償事故を防ぐことを目的に、連合会の安全・適正就業推進専門委員会が、7月に県内2つのセンターにおいて合同安全パトロールを実施し、剪定や草刈現場をパトロールしているほか、連合会の安全担当職員が、センターが実施する安全パトロールに、通年でオブザーバー参加しています。また、連合会の衛生管理者が、センターの衛生管理者や担当者とともに派遣先の職場巡視を実施しています。休業4日以上の方災が発生した場合は、事故発生後、速やかに現場での確認・検証をするようにしています。



(4) 安全衛生活動

①自動車運転業務に従事している会員に対する実地運転技能講習の実施、健康診査結果に基づく連合会の産業医による運転可否の評価及び認知障害早期発見のセルフチェックを実施しています。

②センター職員の「衛生管理者資格」取得等に対する支援(試験手数料の全額援助)

(5) 全シ協作成動画の活用

昨年度、全シ協が作成した「安全な草刈のために」のDVDを連合会で借りし、センターに貸し出しています。センターでは、機械刈り就業会員の研修に大いに役立っています。

なお、転落等による重篤な事故を防ぐため「安全な剪定作業のために」の動画もぜひ作成してほしいとの要望がセンターから寄せられています。

(6) 今後の取組

転落、転倒事故による重篤事故を防ぐため、引き続き、ヘルメットをはじめとする防護具の着用、使用を徹底していくことにしています。

また、飛び石事故対策が急務であり、飛び石防護ネットやハサミ型刈刃の普及など、各センターの取組を積極的に支援し、結果につなげていくことにしています。

石川県シルバー人材センター連合会の概要(令和5年度)

- ① センター数 18 団体(すべて国庫補助団体)
- ② 会員数 9,015 人(男性 5,596 人 女性 3,415 人) ③ 粗入会率 2.3% ④ 就業率 81.5%
- ⑤ 就業実人員 7,343 人(請負・委任 6,009 人 派遣事業 2,072 人)
- ⑥ 就業延人員 781,853 人(請負・委任 566,409 人 派遣事業 215,444 人)

★★★優秀賞を受賞されましたシルバー人材センター、連合会からの報告でした。
ご報告、誠にありがとうございました。★★★

安全就業のためのチェックポイント



会員が安全に就業するための要点を、全カラー版でまとめたイラスト小冊子

A4判 32ページ 2017(平成29)年3月発行 以降、増刷対応

(10部以上からの販売)

価格 184円(税込)、送料実費

編集後記

例年よりかなり遅い梅雨入りでしたが、もう明けてしまうの？という感じで、関東甲信越等早々と梅雨明けになりましたが東北地方の日本海側では大雨による被害が出て、会員の皆様大丈夫かと心配しております。関東は梅雨の期間は短かったですが、降雨量は例年以上とのこと、日本は四季から二季になってしまうのではと思います。さて、今年4月から熱中症警戒アラートに加え、熱中症特別警戒アラートの運用が始まりました。詳細は5月号の安全就業ニュースにありますので、再度、ご確認ください。そんな中、今年はずでに熱中症で亡くなられる会員さんがいらっしゃいました。二人で除草作業中、一人が現場を少しの間離れ、戻ったら倒れられていたとのこと。お昼頃の話です。毎年この時期に注意喚起していますが、作業中の熱中症予防にはこまめな水分補給と塩分の摂取・適度な休憩とのこと。しかし、熱中症に効くというOS1を飲み過ぎると塩分過多で高血圧、ポカリスエットのようなものを飲み過ぎると糖分過多で糖尿病になる可能性があるのです。この暑い夏に作業をされるみなさまは、今一度、このことを思い出し、午前中の早めの時間で切り上げるとか作業を思い切って中止することも必要です。これ以上、熱中症による犠牲者が出ることはないよう、一人ひとり意識し、声を掛け合い、熱中症にならないよう十分注意してください。(松山)

パリオリンピックが始まりました。この日のために選手たちがどれほど努力を重ねてきたのかと思うと始まる前から胸が熱くなります。真剣勝負は心が揺さぶられ、感動が生まれます！私の人生に欠かせない趣味のひとつにスポーツ観戦が挙げられます。その中でも特にサッカーと野球が好きで、子どもの頃は毎日のように野球をして遊び、自分のチームには強いメンバーを集め、勝つ方式を手繰り寄せるという姑息な少年でした。今では、強いチームに入りたかった、ひどいことをされたなど飲んで席でいじられています。

(笑)。父の仕事の関係で野球観戦のチケットも手に入り野球の面白さに引き込まれ、生観戦のほかテレビ中継にも夢中になり、オフシーズンでさえ寝ても覚めても選手名鑑を片手に選手のデータを自分なりに研究してひとりワクワクしていました。現在は、北海道を本拠地としている球団を一番に応援していますが、勝つと気分が上がり、負けると落ち込んでしまいます。私の妻も同様で、機嫌と翌日の食事メニューの良し悪しは球団の勝敗にかかっています。その球団は監督が交代して今年で3年目ですが、周りから様々な批判を浴びながらも若手がグングン成長し、中堅もベテランも皆がひとつの方向を向き、幾度も素晴らしいドラマを繰り広げてくれています。「人生山あり谷あり」ということを選手達が身をもって教えてくれています。先日テレビを観ていたら、「スポーツ観戦が高齢者の健康に良い効果があることが脳科学的に証明されている」とのことでした。生観戦のほかテレビ観戦でもその効果はあるそうです。まるで自分がプレーしているかのような緊張感で手に汗を握ったり、選手達がお互いに称えあったり泣いたり喜んでる姿を見て感情移入したりするのは、「ミラーニューロン効果」と言われるもので、共感のもととなる神経細胞により単なる動きだけではなく感情までも模倣するのだそうです。脳内の「鏡(ミラー)」に選手を映し出し、自分自身に選手のような技術や能力がなくても観ているだけでプレーしているような感覚は脳に刺激を与えるようです。刺激をいっぱい受けています。観戦するだけで健康づくりに役立つとは思いませんでした。皆さんもスポーツ観戦をしてみませんか！(高木)